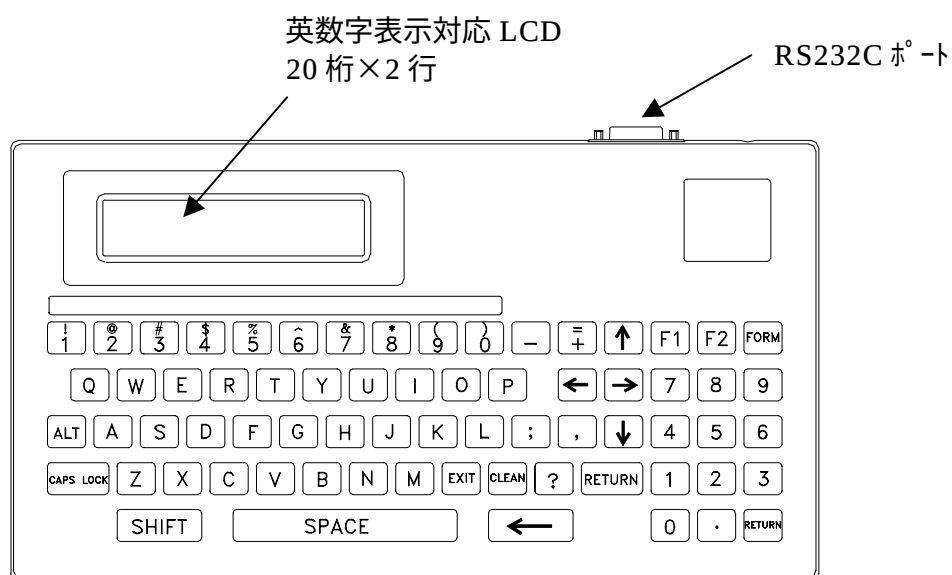


KP-200 LCDディスプレイ付キーボード

1. 概要

KP-200 は TDP/TTP シリーズバーコードプリンタをスタンドアロン環境で使用するために開発された LCD ディスプレイ付キーボードです。プリンタから電源供給できるため余分な AC アダプタを接続することが無いほか、バーコードリーダ等を接続できる RS232C ポートを 1 ポート装備しています。

TDP/TTP シリーズに標準付属するラベルデザインソフト LabelView を使えば簡単にグラフィカルなラベルフォームを作成し、プリンタにフォームとして登録することができます。また、TDP/TTP シリーズがサポートする BASIC 的なプリンタ言語 TSPL を駆使すればよりフレキシブルで、使い勝手の良いあなた独自のスタンドアロンプリンタを創り上げることが可能になります。



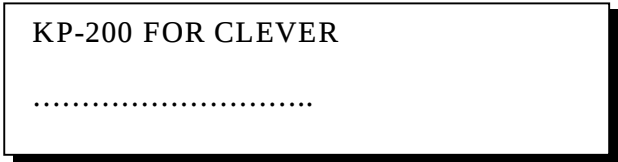
2. 仕様

- サイズ 261mm(L) × 142.2mm(W) × 31mm(H)
- 重量 440g
- ディスプレイ STN タイプ 20 桁 × 2 行
- 消費電流 250mA max.
- 消費電力 361.5mW
- 動作温度 5°C ~ 40°C
- 保管温度 -40°C ~ 60°C
- 湿度 10 ~ 95% 結露無し

3. 操作手順

- ① 最初にデザインしたラベルフォームをプリンタのフラッシュROMにダウンロードします。ラベルのデザイン方法やダウンロード方法は各プリンタの取扱説明書を参照ください。
- ② プリンタの電源をONにします。
- ③ プリンタのRS232CポートにKP-200のインターフェイスケーブル(COM1)を接続します。
- ④ プリンタの電源をONにすれば準備完了です。下記を参考にKP-200を操作してみましょう。

プリンタの電源をONにすると、KP-200のディスプレイに下記にメッセージが表示されます。



KP-200 FOR CLEVER

.....

KP-200 はセルフテストが終わると、次のメッセージを表示します。

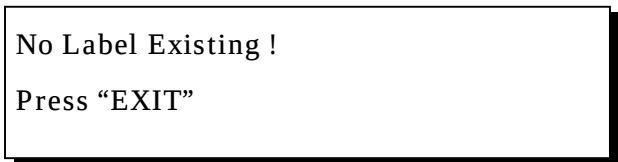


“FORM” = Select Labels

FORM キーを押すとプリンタにダウンロードされているラベルフォームを表示します。複数のフォームがある場合は、「↑」「↓」キーで選択し、RETURN キーで決定します。

ラベルフォームが選択されると、ラベルフォームで定義されている入力項目のプリンタ表示を開始します。

プリンタメモリ内にラベルフォームが1つも登録されていない場合は、下記のメッセージを表示します。



No Label Existing !

Press “EXIT”

EXIT キーを押すことで、メインメニューに戻ることができます。

4. ファンクションキー

下記にファンクションキーの意味を示します。

ファンクションキー	意味
FORM	プリンタメモリにダウンロードされているラベルフォームを呼び出します
F1, F2	未使用
CLEAR	入力データを1行クリアします
ALT	未使用

5. RS232C インターフェイス

プリンタ接続用 RS232C インターフェイス

下記に通信パラメータを示します。

ボーレート	:	9,600bps
ストップビット	:	1ビット
データビット	:	8ビット
パリティ	:	無し

リーダ接続用 RS232C インターフェイス

下記に通信パラメータを示します。

ボーレート	:	4,800bps
ストップビット	:	1or 2ビット
データビット	:	8ビット
パリティ	:	無し

下記にピン配列を示します。

ピン1	:	+5V, 150mA
ピン2	:	N/A
ピン3	:	RxD
ピン4	:	ピン6,8 とジャンパ
ピン5	:	GND
ピン6	:	ピン4,8 とジャンパ
ピン7	:	N/C
ピン8	:	ピン4,6 とジャンパ
ピン9	:	+5V, 150mA



注意

1. プリンタの電源を切った状態で、リーダやキーボードの接続を行ってください。
2. リーダの RTS/CTS ハンドシェイクや XON/XOFF 制御は切にしてください。
3. リーダからのデータには、必ず CR(0DH), LF(0AH)を付加送信して下さい。